

『パンティオロジー』 著・秋山あい

パンティの数だけ哲学がある！

ふだん人に見せることはないパンティ。そのパーソナルな下着を選ぶとき、女性たちはどんなことを考えているのか。

バラエティに富む国籍・年齢・職業の33人が見せた「セクシー」、「リラックス」、「お気に入り」の3枚のパンティをイラストにし、持ち主の赤裸々な本音を聞き出し、出身地やパートナーの有無などのデータと共にファイリング。それらを読み解くと、パンティを選ぶ基準は人生のシーンや社会的状況、文化にも密接に関わっていることがわかってきた。パンティには哲学が宿ると著者はいう。

繊細なレース、大胆でセクシーなデザインを美しく表現した99枚のパンティ画は、作品としても注目されており、アート好きの目も惹く1冊。

コラム、メーカーリストも掲載。



11月5日(火)発売予定！

四六判 並製 オールカラー160ページ

定価：本体2200円＋税

ISBN 978-4-7976-7380-7

発行：集英社インターナショナル 発売：集英社

都築響一さん推薦！

「パンティって、おんなごろの
充電器だったのか！」

Pantieology = パンティ×アート×考現学



#P004

◆フランス国籍 42歳 美術装飾業 パートナー募集中

◆左のパンティは1ユーロ。お金をかけずにいかにセクシーな演出ができるかを考えるのが楽しい。

#P016

◆日本国籍 31歳 俳優 遊びのBFあり

◆力仕事で汚れた汗まみれのTシャツの下にとびきりセクシーな下着を着けて女性としての意識を高める。





P#038 ◆日本国籍 50歳 公務員 元スチュワードess 一児の母 ◆かつてはジュリアナ東京のお立ち台で「見せパン」で踊っていた女性の現在の「リラクスパンティ」。ユニクロ。



P#058 ◆フランス国籍 36歳 一児の母 ◆10年ほど前に当時の恋人が下着フェチだったため購入した、エージェントプロヴォケイターのもの。50ユーロぐらい(約6500円)。



#P056 ◆日本国籍 42歳 アートディレクター 一児の母 ◆身につけるためでなく、オブジェとして手元に置きたくて購入することも。左がセクシーパンティ、右がお気に入り

秋山あい アーティスト。1973年、東京都生まれ。1993年渡仏。仏ボルドー市立エコール・デ・ボザール卒業。パリと東京を拠点に創作活動と作品発表を行う。「考現学的視点」で暮らしや風俗を観察し、今を生きる人々の物語を、鉛筆や水彩のドローイングで描き出す。パリの裏窓から見える風景や、山手線の車窓から見た風景を切り取った作品、生活雑貨や建物、人物を描いた作品などがある。<https://ai-akiyama.com/>

💖 貴媒体でのご紹介、著者インタビューなどをぜひご検討ください 💖

【本書のお問い合わせ先】

集英社インターナショナル

出版部 電話：03-5211-2632

公式サイト <http://www.shueisha-int.co.jp/>